

審判講習会 参加報告書

平成 29 年 4 月 9 日
報告者 木村 晃伸

この度参加しました、審判講習会について報告します。
なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	JX-ENEOS 第48回全国ミニバスケットボール大会
参加者 (報告者)	木村 晃伸 (所属カテゴリー) 中予ミニ連
期 日	平成29年3月27日(月) から 平成29年3月30日(木)
会 場	国立代々木競技場第一体育館、第二体育館
講 師	中山 泰夫氏・吉田 正治氏・平 育雄氏・小坂井 郁子氏
参加者	審判委員長・委員20名、派遣審判員99名
報告① <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技講習 <input type="checkbox"/> ゲーム (該当に レ)	<p><input type="checkbox"/> ゲーム 主審 中野 貴晶氏(滋賀県) 副審 木村 晃伸(報告者) コート主任 篠田 雅智氏(大分県)</p> <p>■講習内容 及び ミーティング内容 東京都 対 秋田県《女子》</p> <ul style="list-style-type: none">・リードとトレイルの役割分担、プライマリーなどの確認・エリア1からエリア6へのドライブ、エリア3、4付近からのミドルドライブは、トレイルが下においてスペースをとらえられるポジションで見ること <p>ゲーム主任より</p> <p>一試合を通して、良い意味で審判の存在感がなく選手がスムーズにプレーをできていた。その中で、いけないものをしっかりとらえられていた。判定に対するベンチからのアピールもなく、スムーズにゲームを進められていた。</p> <p>どっしりと構えているが動きが少なすぎる。また、プレーに遅れていることが何回かあった。秋田の#4がチームのキープレイヤーだったが、そこに対するDFの守りはどうだったのかその判定もきっちりとしていればもっとすっきりしたゲームになっていたのではとの指摘をいただいた。</p>

<p>報告②</p> <p>□ 講義</p> <p>□ 実技講習</p> <p>□ ゲーム (該当に レ)</p>	<p>□ゲーム 主審 野尻 秀郷氏(福井県) 副審 木村 晃伸(報告者) コート主任 一色 渉氏(茨城県 A 級)</p> <p>■講習内容 及び ミーティング内容 滋賀県 対 島根県《男子》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの早い段階でこちらの基準を示すこと ・プレーに遅れないように常に準備をしておくこと ・過去にタイマーの不具合が起こったことがあったので、TOの管理も怠らないこと <p>ゲーム主任より</p> <p>一つ一つのプレーをとらえようとしているのは感じるが、もっとプレーを全体的にとらえられることができるよう、チームが何をしようとしているのかを感じとること。</p> <p>最初はグッドポジションにいたのに、そのプレーにだけに集中していたため、ボールが逆にふられた時にバッドポジションにかわり判定ができてなかった場面があった。</p> <p>プレーを全体的にとらえることができる位置取りと、アングルの取り方を今後追及していく必要がある。</p> <p>また、ゲーム中、考えすぎるのは良くないとの指摘をいただいた。</p>
<p>所感</p>	<p>今回、初めて全国ミニバスケットボール大会に参加させていただき、最終日に割当をいただくことができず、自身の力不足を改めて痛感いたしました。</p> <p>判定にあたって、まずコート上でどのようなプレーがあるのかを知っておくこと、一つのプレーに対してリードとトレイルの役割分担と協力が必要であること、プレゲームカンファレンスで話し合ったことが、ゲーム中、忘れがちになる。そのためにはゲーム中にパートナーと話し合いをすることが大切であることを学びました。</p> <p>また、講師の小坂井郁子氏より、2POのメカニックも変わることなるが、レフリーにとって一番大切なのは判定をすることであるとのアドバイスをいただきました。</p> <p>愛媛国体まで、あと半年余りとなりましたが、まだまだ力不足が否めませんが、その中で今回学んだことをオンザコートで実践し、本番のコートに立てるよう取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>このたび、全国ミニバスケットボール大会に派遣させていただいた、愛媛県バスケットボール協会のみなさまには深く感謝申し上げます。</p>

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。